

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	学年	3	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

## 1、科目の目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 2、使用教科書・副教材

実教出版 「新家庭基礎」ーパートナーシップでつくる未来ー

## 3、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一 学 期	4月	生活を作る【食生活をつくる】 ・人と食物のかかわり ・栄養と食品のかかわり (食品の栄養とからだの成分) ・食品の選び方と安全 (食品の表示と保存・食品の衛生と安全) ・食生活をデザインする (食事摂取基準、食品群別摂取量の目安) ・調理実習①②③	期末考査	2
	5月			1 2
	6月			4
二 学 期	7月	これからの食生活を考える (食品の選択 添加物、食中毒 環境汚染等) 【衣生活をつくる】 ・人と衣服のかかわり・私たちの衣生活・衣服は何からできているのか ・被服製作の基礎 (基礎縫い、製作)・よりよい衣生活を創造する 【子どもとかかわる】 ・少子社会と子ども、子どもの誕生、社会的支援	被服製作 作品の提出 期末考査	3
	8月			3
	9月			6
	10月			3
	11月			5
三 学 期	1 2月	【自分らしい生き方と家族】 ・家族、家庭 ・法律 ・生活時間 【高齢者とかかわる】 ・高齢社会 ・高齢者の自立支援 【消費者として自立する】 ・消費行動 ・資源、環境を考える ・家庭経済 【住生活をつくる】 ・人と住まい ・安全な住まい	期末考査	6
	1月			4
				6
				4

## 4、評価の方法

主体的な言語活動	・生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める ・扱う内容や実験・実習においてはグループ活動を取り入れる
関心・意欲・態度	授業態度、提出物、出欠席の状況から様々な角度から総合的に判断する
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
技能	実験、実習を通して基礎的な技能の定着が身についているか観る
知識・理解	履修事項の定着がなされているか、定期考査・発問に対する解答・課題提出等で判断する

## 5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・提出課題は期日までに必ず提出すること
- ・履修事項を知識としてだけでなく実生活に生かす